

大項目
4

みんなが
生きがいをもって働き
賑わいを創出し
豊かに暮らす「活力あるまち」

現状と課題

- ・本市は、幾筋もの清流が流れ、肥沃で水はけの良い土地が広がり、十分な日照時間の確保という恵まれた生産環境を活かし、市場で高く評価されるいちごやさつき、生産量全国1位を誇る伝統作物である麻、GI登録産品※の鹿沼在来そば、全国規模の品評会で最高位を獲得したかめま和牛など、多彩で質の高い農畜産物が生産されています。また、首都圏にあって東京へ100kmという経済や交通インフラ等の地理的優位性もあり、新鮮な「Made in 鹿沼」の農畜産物を多くの消費者へすぐに届けられます。
- ・農業従事者の高齢化や担い手不足により、農村地域の活力低下や耕作放棄地の増加などの問題が顕在化しています。
- ・近年、食の安全性や環境への配慮に対する消費者意識の高まりにより、安全安心な農畜産物の安定供給に加え、生産過程における環境負荷低減の取組が求められています。
- ・安定した供給を実現するためには、新規就農者を確保しながらも、省力化・効率化・低コスト化による生産性と収益性の向上を確保する手段として、AI※やDX※の急速な進展に伴う新技術や、スマート農業の導入が必要となっています。

重点施策

- ・安心して就農できる環境整備や制度の確立により、新規就農者や次世代の担い手を確保
- ・農地の集積・集約とスマート農業・大型農業機械等の導入促進による効率的かつ生産性の高い農業の推進
- ・土地利用型農業の拠点施設農業公社の施設拡充、生産体制の強化促進
- ・「麻」をはじめとする伝統作物の継承に向けた、販路の確保や後継者育成
- ・中山間の景観や文化など、本市ならではの地域資源を最大限活用した農業体験の普及と新規作物の導入
- ・「さつきの聖地」花木センターのリニューアル
- ・農業・農村における地域資源の保全に向けた共同活動の支援
- ・堆肥の活用拡大に向けた、地域内循環農業を推進する「堆肥化センター」の再整備

施策指標

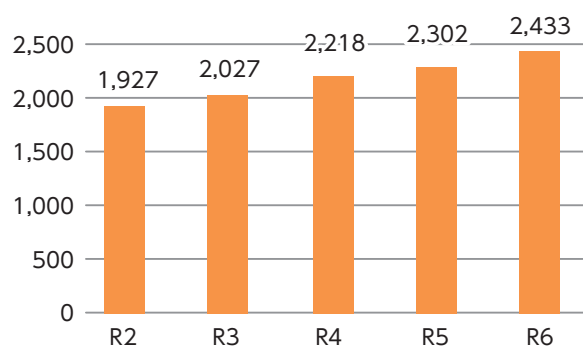
No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	新規就農者数	人	20	25
2	耕作放棄地解消面積	ha	2.6	3
3	いちごの出荷販売額	百万円	2,433	3,000



施策の内容

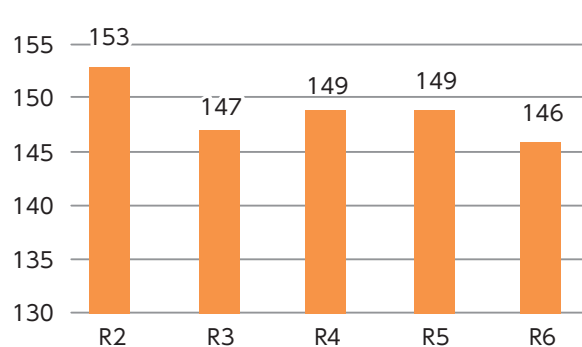
施策展開	5か年の主な取組	
(1) 農畜産物の生産振興	① 生産量・品質の向上	・いちご、にら、トマト、花きなどの園芸作物の振興 ・水稻、飼料作物、大豆、雑穀などの土地利用型農業の振興 ・かぬま和牛など畜産の振興 ・そば、こんにゃく、茶などの地域特産物等の振興
	② 市花さつき文化の継承	・花木センターを核としたさつき文化の継承 ・「さつきの聖地」花木センターのリニューアル NEW! ・苗木生産体制の構築 NEW!
	③ 伝統作物の継承	・「麻」の生産量、質確保の支援
	④ 設備導入支援	・農業機械、施設などの導入支援
(2) 担い手確保と生産基盤の整備	① 新規就農促進	・新規就農者支援制度の拡充 ・セーフティネット制度の構築
	② 効率化・省力化の推進	・土地改良事業 ・耕作放棄地解消活動の促進 ・スマート農業の推進 ・いちご栽培におけるスマート農業団地の形成拡大
	③ 農業公社の施設拡充	・水田作近代化施設の拡充 NEW!
(3) 農業・農村の魅力向上とPR	① 農村への移住促進	・新規就農者支援とあわせた移住の促進 NEW! ・首都圏の就農フェアでのPR
	② 中山間農業の継承	・民間活力と地域とのマッチングを促進 NEW! ・都市間交流や農業体験などによる関係人口の拡大 ・農村環境の保全
	③ 地産地消の推進	・地産地消の推進【再掲】 ・農村レストラン・直売所の活性化 ・農林商工連携・6次産業化の支援 ・鹿沼そばの振興・PR ・かぬま和牛の振興
(4) 環境に配慮した農業の推進	① 安全安心な農作物の生産推進	・有機農業や減化学肥料・減農薬栽培の促進 ・農業用廃プラスチックの適正処理の促進
	② 循環型農業の推進	・堆肥化センターの再整備 NEW! ・耕畜連携の推進

いちごの販売額（百万円）



出典：鹿沼市調べ

いちご農家数（戸）

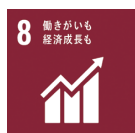


出典：鹿沼市調べ

用語解説

- ※ GI 登録産品：特定の地域で生産され、その地域の自然的、文化的、社会的要因によって特有の品質や評判を持つ産品。
- ※ AI：人間が行う知的な活動をコンピューターで模倣や再現する技術やシステム。
- ※ DX：デジタル技術が社会に浸透し、人々の生活をあらゆる面でより良いものに変えていくこと。

関連 SDGs

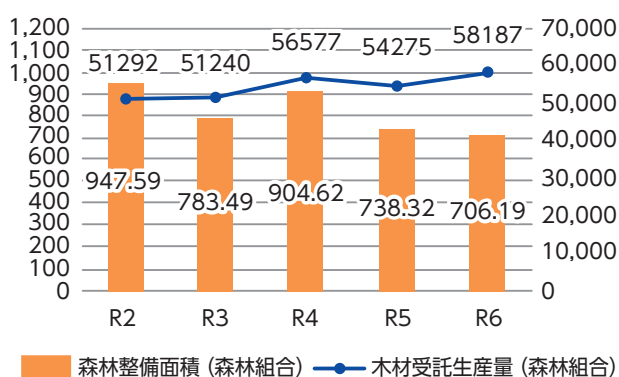




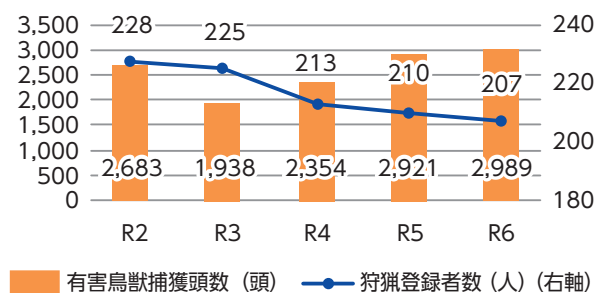
現状と課題

- ・本市は、市域の約7割を山林が占め、豊富な森林資源を活用した林業、木工業が盛んです。
- ・森林経営管理制度に民間活力を導入し、効率的な森林整備を進める一方で、林業経営体の減少による山林の放置や、山奥や急傾斜地等では、施業の行き届かない場所が増えています。
- ・豊富な森林資源を活かした、効率的な森林経営と木材の循環利用の促進や、山地災害を予防するため、森林路網の整備や適切な維持管理が必要です。
- ・近年、野生鳥獣による農林業被害が増加傾向にあることから、より一層、防護、環境整備、捕獲（駆除）の推進が求められます。
- ・有害鳥獣捕獲従事者の高齢化が進んでおり、担い手、特にハンターの育成・確保が急務となっています。
- ・特定外来生物を含めた森林病虫害による被害も拡大しており、被害防止の対策も急務となっています。

木材受託生産量 (m³)
及び森林整備面積 (㎡) の推移



有害鳥獣捕獲頭数と狩猟登録者数の推移



重点施策

- ・持続可能な森林経営を実現するため、森林環境譲与税を活用した森林経営管理制度※の推進
- ・労働環境の改善や効率的な森林経営を推進するためのスマート林業の推進
- ・森づくり条例に基づき、林業大学校や市内高等学校等との連携による担い手の確保
- ・災害防止や景観形成など、森林の有する多面的な機能の維持、向上
- ・良質な鹿沼産木材を「Made in 鹿沼」として発信し、利活用及び販路拡大を促進
- ・多面的な機能を有する森林の異分野のビジネスでの活用
- ・有害鳥獣や特定外来生物などの病虫害による、農林業や森林等への被害防止対策を推進

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	木材受託生産量（森林組合）	m	58,187	72,000
2	新規狩猟登録者数	人	23	30

施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 健全な森づくりの推進	① 森林経営の促進	・森づくり条例運用のためのガイドラインの作成 NEW! ・森林環境譲与税の活用 ・森林経営管理制度の推進 ・労働環境の改善と効率的な森林整備を促進するためのスマート林業の推進
	② 計画的な林道の整備	・林道改良工事 ・県と連携した基幹林道の整備
(2) 担い手の確保と育成	① 林業大学校との連携	・市内事業所への就労支援 NEW! ・21世紀林業創造の森の利活用 NEW! ・市内高等学校との連携強化 NEW!
	② 森林環境教育の推進	・学校教育と木育の連携推進
(3) 木材の利用促進	① 販路拡大の促進	・友好都市を中心とした首都圏への認証材 PR ・鹿沼産木材の積極的な利活用の促進
	② 他分野での森林資源活用	・官民一体となった森林ビジネスの創出 NEW!
(4) 野生鳥獣による農林業被害軽減	① 担い手の確保	・狩猟免許取得への支援 NEW! ・狩猟に関する初期投資費用の支援 NEW! ・有害鳥獣捕獲従事者の支援 NEW!
	② 野生鳥獣対策	・有害鳥獣捕獲報償金 ・野生鳥獣対策防護柵設置の支援

用語解説

※森林経営管理制度：手入れの行き届いていない森林について、市町村が森林所有者から経営管理の委託（経営管理権の設定）を受け、林業経営に適した森林は地域の林業経営者に再委託するとともに、林業経営に適さない森林は市町村が公的に管理（市町村森林経営管理事業）をする制度。

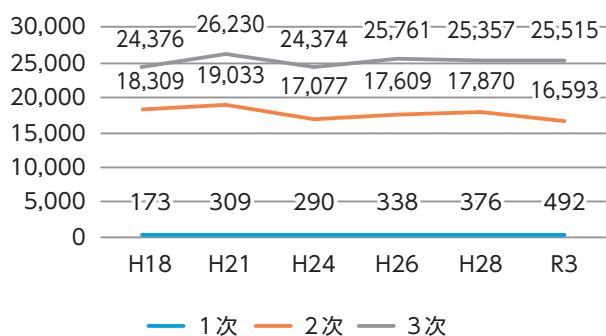
関連 SDGs



現状と課題

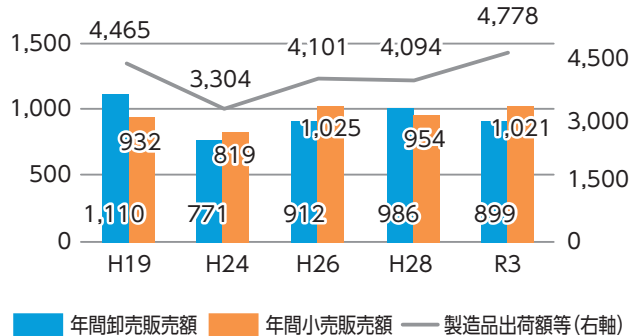
- ・全国的な経済情勢として、原油価格や物価の高騰、ウクライナ情勢、米国関税など直面する課題が複合化されています。
- ・地場産業においては、高齢化や後継者不足により継続困難に陥っている事業者が増加しており、地域経済が活力を損なう危険性が高まっています。
- ・事業の継続や拡大に向けては、人材確保や育成、事業活動の生産性向上など、企業が直面する課題や取組は多様化しています。
- ・ラストワンマイル物流の維持困難や災害発生時の対応などを含めた地域課題の解決には、物流業界における新たな付加価値の創出が求められるなど、市内事業者と地域経済の持続的な発展が求められています。
- ・新規創業は、ノウハウや資金面でのハードルが高く、実現に結びつかない事例がみられます。
- ・地域経済の好循環を実現するためには、多様化する企業ニーズを収集しながら、有効な支援策を講じる必要があります。

産業別従業者数の推移（人）



出典：経済産業省「経済センサス」

年間卸売 / 小売販売額・製造品出荷額等（億円）



出典：経済産業省「経済センサス」

重点施策

- ・企業の持続的な成長と本市の経済活性化に繋げるため、事業者の DX ※や GX ※等を支援
- ・本市の優れた技術力を「Made in 鹿沼」として発信
- ・宇宙産業をはじめとした成長分野への進出等を支援
- ・地域と連携したモーダルシフト事業の展開など、新たなスマート物流事業を推進
- ・事業者や経済団体等との連携により、中心市街地、東武新鹿沼駅や JR 鹿沼駅周辺等の活性化を推進
- ・商工団体や金融機関等と連携し創業や起業、異分野進出を支援
- ・伝統技術を継承するため、後継者や技術者の育成
- ・成長意欲のある企業や事業承継のための支援策や融資メニューの拡充
- ・経済情勢に応じた各種支援策を推進

施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	製造品出荷額等	億円	5,285	6,127
2	空き店舗活用数（累計）	件	31 (令和2～6年度)	40 (令和8～12年度)
3	特定創業支援事業による証明書発行 件数	件	16	20

大項目

4

「活力あるまち」

施策の内容

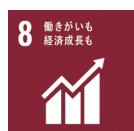
施策展開	5か年の主な取組	
(1) 商業の振興	① 地域商業の活性化	・ 商業者が主体となつて行う「地域活性化イベント」の開催支援 ・ UR（独立行政法人都市再生機構）との包括連携協定に基づく公民連携によるまちづくりの推進 ・ 民間主導の事業と連携した東武新鹿沼駅前活性化の推進 NEW! ・ 農林商工連携・6次産業化の支援【再掲】 ・ 鹿沼そばの振興・PR【再掲】 ・ かめま和牛の振興【再掲】
	② 創業支援	・ 特定創業支援事業 ・ 空き家・空き店舗等の活用促進 ・ かめま創業支援ネットワークと連携した創業支援
(2) 工業の振興	① 企業の持続的な成長支援	・ DXやデジタル化による業務効率や生産性向上の支援 ・ GXや脱炭素化に向けた支援制度の創設 NEW! ・ 企業支援体制の枠組み強化 NEW!
	② 成長分野への参入促進	・ 宇宙産業などへの参入支援 NEW!
	③ スマート物流の推進	・ 新たな地域内物流の促進 NEW!
	④ 伝統技術の継承	・ 「鹿沼の名匠」の認定と後継者育成の支援 NEW! ・ 職業訓練や技術者育成の支援
(3) 中小企業の経営支援	① 融資による支援	・ 制度融資・保証料補助による資金調達円滑化 ・ 鹿沼市中小企業融資振興会との共同による制度融資の拡充 ・ 県よろず支援拠点等と連携した経営指導による経営安定化の支援
	② 地元企業の支援	・ 企業訪問による連携強化 ・ 各種支援制度による経営支援 ・ 県や事業引継ぎ支援センター、市内各団体とのネットワークを活かした事業承継支援

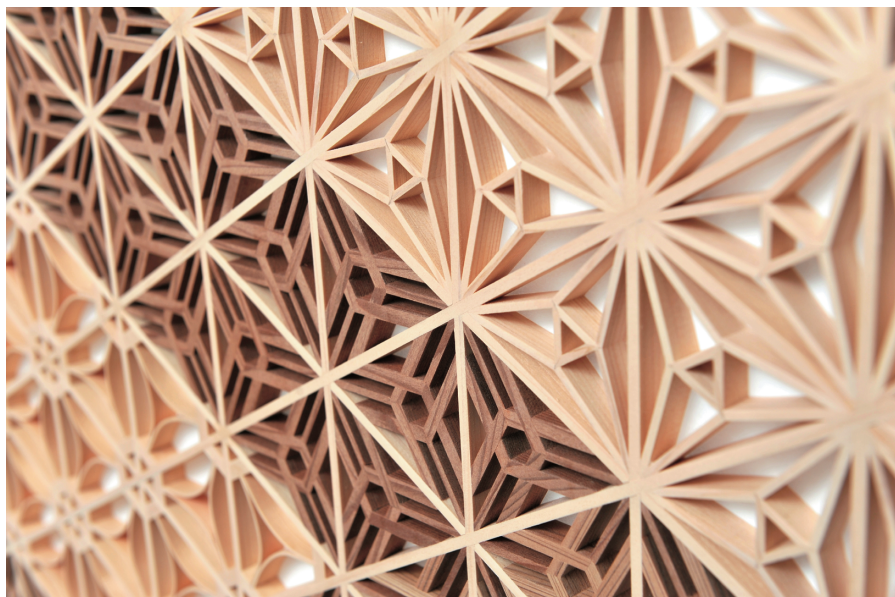
用語解説

※ DX：デジタル技術とデータを活用して、企業や組織の「ビジネスモデル」や「企業文化」を変革し、競争上の優位性を確立すること。

※ GX：経済社会システム全体を、温室効果ガスを排出しないクリーンなものへと変革し、それを通じて産業競争力を向上させ、持続的な経済成長を実現していくこと。

関連 SDGs



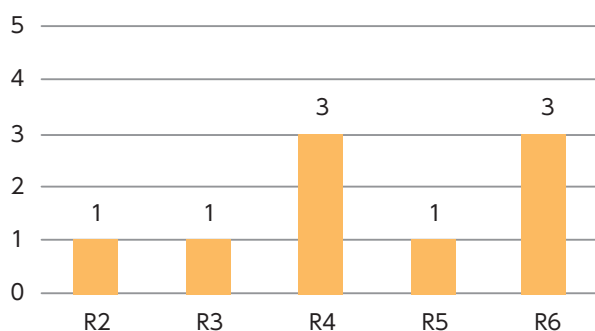


鹿沼インター産業団地

現状と課題

- ・昭和36年に鹿沼木工団地の整備を開始して以来、鹿沼工業団地、宇都宮西中核工業団地等、7か所の工業団地を整備し、127社の企業が操業、または操業を予定しています。
- ・令和7年度に完成した鹿沼インター産業団地では、4企業を誘致しており、今後、約1,000人の雇用創出が見込まれています。
- ・首都圏にあって東京から100km、高速道路のインターチェンジがあることなどの地理的優位性により、本市への立地ニーズが高い一方で、市内7か所の工業団地には空き区画がなく、大規模な立地ニーズに応えられない状況です。
- ・産業団地整備には長期間を要することから、次期産業団地の整備に着手し、早期完成を目指して事業を進めています。
- ・市内企業は、人材の確保と定着に課題を抱える一方、高齢者や外国人など、多様な人材の受け入れやワークライフバランス※のとれた働きやすい環境づくりも求められています。

企業誘致件数（件）



出典：鹿沼市調べ

重点施策

- ・民間事業者との連携による情報収集、公共施設跡地や空き工場バンクの利活用、企業立地優遇制度などによる適地への企業誘致推進
- ・次期産業団地の整備と新たな産業用地の創出
- ・鹿沼工業団地の雨水対策と緑地面積率緩和
- ・複数企業の合同説明会や入社式の開催支援
- ・女性や高齢者、外国人等、多様な人材が活躍できる労働環境づくり

★ 施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	企業誘致件数（累計）	件	9 (令和2～6年度)	7 (令和8～12年度)
2	誘致企業での雇用者数（累計）	人	33 (令和2～6年度)	1,050 (令和8～12年度)
3	市内高等学校卒業者における就職希望者のうち市内への就職率	%	35.3	41.0

大項目
4
「活力あるまち」

★ 施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 企業誘致の推進	① 適地への企業誘致	・企業立地促進補助金を活用した企業誘致 ・工場跡地や市有地・公共施設跡地の利活用促進 NEW! ・東京サテライトオフィスを活用した企業誘致 NEW! ・「空き工場バンク」の活用
	② 次期産業団地の整備	・次期産業団地の整備 ・継続的な産業用地創出に向けた適地調査の実施 NEW!
	③ 既存工業団地の価値向上	・緑地面積率の緩和 NEW!
(2) 人材の確保・定着支援の充実	① 人材の確保促進	・鹿沼市雇用・移住・定住促進協議会との連携による合同企業説明会等の雇用支援事業の拡大 ・企業と高校による情報交換会の開催 NEW!
	② 人材の定着支援	・奨学金返還支援補助金の交付 NEW! ・合同入社式の開催支援 NEW! ・鹿沼市勤労者福祉共済会の運営支援などによる中小企業等勤労者の福祉向上 ・民間企業と連携した新卒者就職祝金【再掲】 ・いちご市 KANUMA サポートーズとの連携による定住支援【再掲】
(3) 働きやすい労働環境づくりの推進	① 労働環境の整備促進	・職場環境改善の促進 ・女性や高齢者、外国人等の受入れ促進 ・「イクボスカめま」登録事業所の拡充【再掲】 ・女性活躍推進事業者認定制度の運用【再掲】

用語解説

※ワークライフバランス：仕事（ワーク）と私生活（ライフ）の調和を図り、どちらか一方に偏ることなく、心身の健康を保ちながら、充実した生活を送ることを目指す考え方。

関連 SDGs



★ 現状と課題

- ・花木センター、出会いの森オートキャンプ場、千手山公園、屋台のまち中央公園、横根や古峰ヶ原高原、山と清流、神社仏閣など、広大な市域にはそれぞれ魅力ある観光スポットやアクティビティがあり、南摩ダムや「スノーピーク鹿沼キャンプフィールド&スパ」など新たな拠点施設も加わり、多くの観光客が訪れています。
- ・市民が自主的に開設する「まちの駅」は日本一の認定数を誇り「まちの駅“新・鹿沼宿”」を拠点として、おもてなし活動を展開しています。
- ・市内各地の観光スポットを結びつけ相乗効果を生み出す周遊ルート等の確立や、ゴルフやアウトドア、いちご狩りなど、資源を活かす施策が効果的です。
- ・鹿沼秋まつりや発光路の強飯式等、国指定無形民俗文化財のイベントやさつき祭り等、本市独自の産業振興イベントをはじめ、年間を通して集客力のある多彩なイベントが開催されています。
- ・観光イベントの継続には、担い手の確保や新たな資金調達の方法などを検討する必要があります。
- ・観光施設の多くは老朽化が顕著で、安全かつ衛生的に使用していくためには、適切な点検と修繕が必要です。
- ・利活用や管理の効率化を図るため、観光施設全体の今後の在り方の検討を進める必要があります。
- ・鹿沼市観光協会は、観光施設の管理や観光案内など、本市の観光振興において重要な役割を担っていますが、その役割や体制等の見直し、安定した財源の確保が課題となっています。
- ・市内12か所のゴルフ場には、市内外から多くの来訪があるため、ゴルフを活用した観光振興施策の検討を進めています。
- ・HPやSNS活用の観光PRに努めていますが、そのアピール力は弱く、常にニーズに応じた改善が必要です。

重点施策

- ・中長期的な観光ビジョンの策定
- ・滞在の長時間化を目指し、二次交通や道路網の拡充、「Made in 鹿沼」の観光資源や地域の史跡名跡の連携による周遊観光ルートの確立
- ・「キャンプ+」をはじめとする観光戦略の推進や、アウトドアコンテンツを活用した観光 PR
- ・南摩ダムやダム湖面、周辺施設の観光活用推進
- ・市民活動の活性化と文化の継承を目的とした、観光イベントの開催支援
- ・鹿沼市観光協会等と連携した観光案内や PR の強化と「まちの駅“新・鹿沼宿”」を拠点とする観光案内システム構築
- ・利用者の満足度向上に向け、観光施設の適切な維持管理に加え、民間活力導入の検討
- ・分かりやすい案内標識の拡充など、観光環境の整備による、ユニバーサルツーリズム※の促進
- ・「まちの駅」のおもてなし活動支援
- ・前日光県立自然公園などの観光資源の保全と活用促進と、新たな観光資源の発掘
- ・「ゴルフのまち鹿沼」の推進

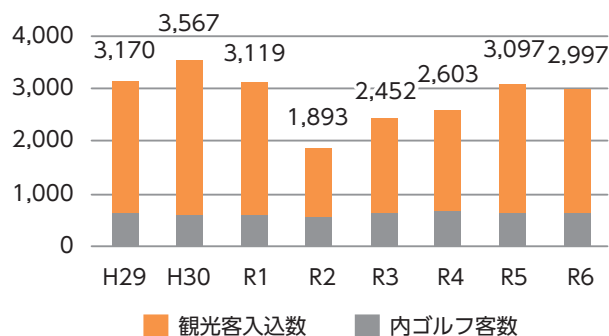
施策指標

No.	内容	単位	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)
1	観光客入込数	千人	2,997	3,453
2	観光ウェブサイトアクセス数	PV	1,567,000	1,805,000
3	ゴルフ場来場者数（ゴルフ場利用税 納入者数）	千人	619	686

★ 施策の内容

施策展開	5か年の主な取組	
(1) 情報発信・案内の拡充	① 観光団体への支援	- 観光協会の活動支援 - 地域や団体による観光イベントの開催支援 - 観光事業者との連携 「まちの駅ネットワークかめま」の活動の支援
	② 観光案内・PRの強化	- 周遊提案マップのリリース NEW! - 旅マエの情報発信強化 - 旅ナカの案内機能強化
(2) 観光戦略の推進	① 周遊観光の推進	- 観光ビジョンの策定 NEW! 「キャンプ+」等「+戦略」の推進 NEW! - 南摩ダムの活用 NEW! - 観光広域連携の推進 NEW! - ゴルフ場への誘客支援 NEW!
	② 観光地域づくり	- 観光二次交通の拡充 NEW! - ユニバーサルツーリズムの推進 NEW!
(3) 観光資源の充実	① 観光施設の管理運営	- 観光施設の適切な維持管理及び整備の実施 「さつきの聖地」花木センターのリニューアル【再掲】 - 民間活力の導入
	② 前日光県立自然公園を中心とした観光資源の活用	- 前日光ハイランドロッジの整備構想の策定 NEW! - 横根高原保全活用協議会との連携
	③ 観光資源の発掘と磨き上げ	- 地域の優れた観光資源の掘り起こし - 磨き上げによるシビックプライド※の向上と市民による情報発信の促進

観光客入込数（千人）



出典：鹿沼市調べ

用語解説

※ユニバーサルツーリズム：国籍や年齢、障がい等の有無にかかわらず、すべての人が安心して楽しめる旅行を指す言葉。

※シビックプライド：住民が自分たちが住む地域や都市に対して抱く「誇り」や「愛着」。

関連 SDGs



私の好きな鹿沼・栗野フォトコンテスト入賞作品

